紀南教会瓦版

神は何時もあなたと共にいます。

発行元
紀南キリスト教会
和歌山県田辺市
下屋敷町８０
TEL/EAX:0739-25-1191
E-mail：kinan-ch@beach.ocn.ne.jp
H･P：http://www.kinan-ch.org/

秋の気配は感じられるようになりましたが、夏の暑さが年々厳しいものになっているそんな気がしてなりません。お疲れが出てくる頃かと思いますので、油断なさらずに体調管理には十分にお気を付けください。

編集員一同

大切なものは

整理整頓、片付け本が流行っていますね。

自分の身の回りにも、なくても良いものがあふれている気がします。

これがあると便利かも、とついつい不要なものまで買ってしまいがちですが、あると便利なものは、なくても良いもの。

消費することによって経済は潤いますし、生活の糧を得る手段となっている場合もありますので、一概にダメとはいえませんが、必要なものと不要なもの、なくても良いものを仕分けてみたら、本当に必要なものは、実はごく少ないはず。

ものにあふれた生活をしていると、心や体も休まらず、悪影響を及ぼすようです。いろんなものを揃えても、天国には持って行けませんしね。

昔はものを手に入れるために苦労したと思いますが、今はものを増やさないために苦労する時代になってしまいました…。

“無くてはならないものはひとつしかない”とおっしゃったイエス様。

私自身、ついついものを増やしてしまいがちなのですが、本当に大切なものは心に、天国に蓄えられるよう、日々過ごしていけますように…。

つくし

心、体のメインテナンス

紀南教会牧師　上山　耕司

今夏は熱中症で多くの人が病院に搬送されました。その対策でしばしば言われたことは水分をしっかり取ること、クーラーを使用することでした。年を取った人はついつい電気代節約で、クーラーを控えてしまいやすいものです。まずは命が第一、それを大切にしなければなりません。体は年と共に弱くなり、大丈夫と思っていても、あちこち故障しやすくなってきます。長年使った金属疲労のようなものです。例えば、体の要である腰、次ぎに膝、肩などです。私は最近、右肩の関節が痛く、手が後ろに回りにくくなりました。そこで妻が行っている整骨院に行って見てもらいました。わたしは長年積み重なってこうなったのだから、治すのは無理だろうと思っていましたが、何回か通っている中に痛みもなくなり、手も後ろに回るようになりました。車は二年に一回車検があります。買ったばかりだとほとんど修理箇所はありません。しかし、4，5千km走るごとにエンジンオイルの交換、何年か使っている中に、タイヤがすり減ったり、ブレーキがききにくくなったり、交換や修理が必要になってきます。車検などでちゃんとメインテナンスを行うことで故障も少なく、長く使うことが出来、事故防止にもつながります。人間の体もメインテナンスを行うことで、私の肩のように痛みが和らぎ、より長く使うことが出来るようになります。もう一つメインテナンスが必要なところがあります。それは心です。人間は体と共に心、魂を持っている存在です。その心や魂もメインテナンスが必要なのです。長年心を使うとさびや垢がたまってきます。赤ちゃんの時は純粋無垢な心も年齢が進むにつれ、意地悪な心や、嘘や欲が積み重なって汚い心は溜まっていく一方です。それが心のさびや垢です。それを取り除かねば、心は詰まってしまって病気になってしまいます。ではどうすれば心のさびや垢を取り除くことが出来るのでしょうか。一言で言えばそれは神しかできないことです。私は自分で自分の肩を治すことは出来ませんでした。私の肩を治したのは整骨院の先生です。それと同じように、私たちは心のさびや垢は自分で綺麗にすることは出来ません。いや、良い行いを積み重ねれば心を綺麗にすることが出来ると考え、一生懸命に修行や善行を積み重ねようとします。しかし、そうすればするほど、自分の心の汚さや、自分の無力さを知るのです。神さまはそんな私たちを深く憐れんで下さり、この世に御子イエス・キリストを遣わしてくださったのです。この御子を信じる者には、その信仰によって御子キリストが私たちの心のさびや垢を取り除き、きれいな心にして下さるのです。この御子キリストへの信仰と神への礼拝が私たちの心のメインテナンスなのです。

キリストの教会全国大会

二〇〇二年の第53回キリストの教会全国大会を紀州南部ロイヤルホテルで開催しました。

紀南のキリストの教会に繋がるひとりひとりが一致協力して当たったその準備の中でこういう意見があがりました。「大会ニュースは大会までの約1年の間に4回程度の発行なのでもっとリアルタイムな大会準備の様子を全国の兄弟姉妹の皆さんにお届けしたい。」

そういうことから大会かわら版を発行することになりました。大会ニュースの合間の月にB4一面編成のかわら版を全9号発行しました。

私の曖昧な記憶ではこの大会かわら版が今の教会瓦版への源流になったのでは思っているのですが・・・。ねえ編集長、違っていますか？

今号発行の直前の8月27日から29日まで舞子ヴィラ神戸で第66回キリストの教会全国大会が開催されましたので、澤村まみ姉の報告をご紹介いたします。

池田基宣事務局長による開会式

二日目午前の分科会のひとこま。
信仰について
何でも聞いちゃおう！
（信仰入門）横溝健正師

「恵みの広場」です。

岸本先生が韓国から来られた牧師先生たちの紹介をしています。

来年のキリストの教会世界大会の案内がありました。

ＯＢＳの学生さんの特別讃美です。

前に紀南教会でも歌った「主の祈り」を合唱してくれました。

２日目夜の礼拝は韓国の牧師先生イー・ガンピョン師からのお話でした。ヨハネ福音書と民数記から話して下さいました。お隣におられるのは通訳をされている方です。

来年の大会のアピールです。来年は長野で開催だそうです。

ホテルの窓から見た明石海峡大橋

編集長がまさかの緊急入院で四六号発行はいかなることに・・・などと他人ごとの様に考えている場合ではありませんでした。十二年間で教会瓦版のお休みは全国大会を主催した年の八月一回のみ。休むわけには行きません。

次号四七号は、十一月二十九日に発行の予定です。